



三重県身体障害者  
総合福祉センター  
広報誌

シー



障がい者スポーツ大会を再開！

入通所相談業務の実際

高次脳機能障害、こんなことが苦手になります



# 久しぶりの開催です。 スポーツイベントへのご参加、ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで多くのイベントが中止になってきました。コロナ禍も3年目となり、感染拡大を防止しながら社会経済活動を継続する取り組みが日本各地で開始されるようになりました。

障がい者スポーツ推進課でも感染症対策を徹底しながら、スポーツイベントを開催しています。今回ご紹介した競技以外にも順次開催していく予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## FLYING DISC

### 第25回三重県障がい者スポーツ大会 フライングディスク

5月28日(土)、3年ぶりの開催となった「第25回三重県障がい者スポーツ大会フライングディスク」を行いました。青空が広がった身障センターのグラウンドには、12歳から81歳までの約200名の参加者にお集まりいただきました。

今年度の県障がい者スポーツ大会では、昨年度中止となった三重とこわか大会リハーサル大会の入賞メダルを活用した表彰を行います。



## SPORT RECREATION FESTIVAL

### 2022三重県ふれあいスポレク祭

悪天候や新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりとなった「2022三重県ふれあいスポレク祭」を6月18日(土)に開催しました。今年は感染症対策として、午前と午後の2部制で実施し、「パン食い競争」を「パン採り競争」へ変更するなど、例年とは違う開催方法にすることで参加者の皆様に安心して楽しんでいただけるよう努めました。



**身障センター内に三重県障がい者スポーツ支援センターがオープンしました！**

障がい者スポーツ支援センターでは、障がい者スポーツに関する情報提供をするコンシェルジュを配置し、競技団体と企業とのマッチングや相談支援などを行います。障がいの有無に関わらず、どなたでもお問い合わせ・ご相談できます。ホームページはこちら→



# 生活援助棟、おシゴト探訪。

今回の「おシゴト探訪」では、援助棟利用の窓口となる入通所相談業務を紹介させていただきます。これから身障センターを利用しようと考えていらっしゃる方に、当施設について説明する大切な業務を行う中での苦労や新型コロナウイルス感染症の拡大によって起こった業務の変化などについて、お話を聞きました。

-----まず最初に、入通所相談業務ではどのようなことをされているのか、利用者様が援助棟を利用されるまでの流れを教えてください。

**多**くの場合は、回復期病院の医療ソーシャルワーカーさんから電話でお問い合わせがあります。ご家族の方から直接、ということもありますね。そのときに利用いただける対象となるかどうか(身体障害者手帳がある、高次脳機能障害の診断がある、難病の診断がある、のいずれかに該当しているか)を確認したり、患者様の障がいの状態を簡単にお伺いしています。ご利用いただける場合は面談の日時を調整します。面談の時に実際に施設を見ていただいて、入所日を調整していきます。



代理でご家族が施設を見学されることも多くなりました。

-----今(2022年7月現在)は新型コロナウイルス感染症の影響で、病院への出入りや外部との接触が厳しく制限されていますよね。そんな中での面談の調整は大変ではないですか？

**入**院中の患者様は病院から外出できない場合が多いので、入所前の診察のために来所できないこともあります。その場合は、Zoomを利用して、当センターの看護師が患者様、先方の療法士、看護師、医療ソーシャルワーカーから状態をお聞きしています。もちろん、病院によって人数やメンバーは違いますが、たくさんの職種の方が情報を提供してくれるので助かっています。

[次号へ続く](#)

## Understanding

## Higher Brain

## Function

**高次脳機能障害にはどのような症状・特徴がありますか？**

**日常生活では何ができなくなるんですか？**

高次脳機能障害の症状は、ダメージを受けた脳の部位やダメージの度合いなどによって人それぞれ異なります。例えば...

- ・テレビに気を取られて食事が進まない(注意障害)
- ・繰り返し伝えても、すぐに同じことを尋ねてくる(記憶障害)
- ・ちょっとしたことで怒りがこみあげてくる(社会的行動障害)
- ・段取りを組むことが苦手になり、約束の時間に遅れる(遂行機能障害)
- ・ハサミや髭剃りの使い方がわからない(失行症)
- ・左側の壁にぶつかってしまう(半側空間無視)
- ・自分ができなくなっていることを指摘されても、ピンとこない(病識欠如)
- ・顔を見ただけでは誰かが分からない(失認症)
- ・言葉が出てこない／こちらの質問が通じない／字が書けない(失語症)
- ・激しい運動や難しい作業をしたわけでもないのに疲れる(易疲労性)

などです。

このような症状があると、日常生活で困ったことが起こりやすいですが、ちょっとした工夫によって生活しやすくなることもあります。

どんな工夫ができそうか、それを当事者の方と一緒に考えることは、臨床心理士をはじめ生活援助棟で働く職員全員の大切な仕事の一つです。



## 01

### 参加者を募集中です！ 第25回三重県障がい者 スポーツ大会のお知らせ。

現在、バレーボール(精神障害の部)、ボウリングの参加者を募集しています。申し込み方法など、詳しくは身障センターホームページをご覧ください。そのほかの競技についても詳細が決まり次第、ホームページに掲載していきます。

種目	開催日	開催場所	申込締切
バレーボール (精神障害の部)	11月12日(土)	ハートフルみくもスポーツ文化センター	現在受付中！ 10月7日(金)
ボウリング	12月3日(土)	津グランドボウル	現在受付中！ 10月21日(金)
卓球(一般卓球)	1月28日(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	12月23日(金)
ボッチャ	2月18日(土)	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	1月13日(金)

## 02

### 今年は会場へ！ 「みえ福祉用具フォーラム」を開催します。

福祉用具に関する講演、メーカーによる機器のデモンストレーションなど、福祉用具を体感できるイベント「みえ福祉用具フォーラム2022」を11月11日(金)に開催します。今年は会場で福祉用具の展示体験をしていただけるように準備を進めていますが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンライン開催に変更することもありますので、「みえテクノエイドセンター」ホームページで最新の情報をご確認ください。



写真は2020年の様子です。  
みえテクノエイドセンターホームページ↓



### 編集後記

本号では障がい者スポーツの再開(障がい者スポーツ推進課)、入通所相談業務(支援部)に関する記事を掲載しました。身障センターの業務は人と人とのつながりの場を提供したり、直接対面することでしか行えないものがほとんどです。じっくりお互いの顔を見て、言葉を交わして…。そんな状況は「3密」と呼ばれ、避けるべきものとなってしまいました。

本号は3年目となるコロナ禍で各部署がつながりを取り戻すために模索する様子をお伝えできたかと思います。これからも当センターの事業にご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

#### 【制作・発行】

三重県身体障害者  
総合福祉センター

津市一身田大古曾670番地2

TEL:059-231-0155(代表)

FAX:059-231-0356

ホームページのQRコードはこちら↓



## 03

### 三重県厚生事業団 チャンネルをご存じ ですか？

動画投稿サイトYouTubeの「三重県厚生事業団チャンネル」では職員やアスリートへのインタビュー、障がい者スポーツに関する素朴な疑問など、「三重県厚生事業団」だけでなく、障がい者スポーツを身近に感じていただける話題をたくさん取り上げています。ぜひ、チャンネル登録をお願いします！



令和5年の法人設立50周年に向けてコンテンツを充実させています。QRコードはこちら。